# ベルフォート美容専門学校

# 自己評価報告書

# （2022年度）

学校法人まこと学園

ベルフォート美容専門学校

# 1.学校の教育目標

## 【校訓】

至誠一貫

## 【教育目標】

社会に愛され貢献できる人材の育成

## 【ビジョン】

①県下断トツナンバーワン美容学校
　　コンテスト実績、技術力、美容師国家試験合格率、
　　各種検定合格率、学生満足度、就職率などすべてに
　　おいて断トツナンバーワンを目指す。
②一人ひとりの学生の個性を大切に技術指導し美容師国家
　資格取得と社会人として基本のマナーを身につける。
③地元で育て、地元に帰す
　（岐阜の美容業界のプラットホームを目指す）
　　岐阜の美容業界から求められる人材をそだて、地元
　　美容業界へ人材を送り出す。

## (1)教育理念・目標

| 評価項目 | 評価結果<br>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|
| ○学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。<br>(専門分野の特性が明確になっているか) | ④　3　2　1 |
| ○学校における職業教育の特色は何か。 | 4　③　2　1 |
| ○社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来像を抱いているか。 | 4　③　2　1 |
| ○学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構造などが学生・保護者等に周知されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。 | 4　③　2　1 |

**①課題**

・学校の特色は学生や保護者に周知されているが、育成人材像、将来構造についてはまだ周知しきれていない。

**②今後の改善方策**

・教育理念や育成人材像については、入学ガイダンスや全校集会、三者懇談等を通じて周知に努めていく。
・企業訪問などを通し、現場で必要とされている人材や技術力など定期的に確認していく。

**③特記事項**

・教職員は理念や教育目標を記した運営計画書を持ち、定期会議の際にも毎回確認している。また学生は毎月全校集会(学年集会)を行い、校長講話等を通して理念や目的の理解を図っている。

## (2)学校運営

| 評価項目 | 評価結果<br>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|
| ○目的等に沿った運営方針が策定されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○運営方針に沿った事業計画が策定されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。 | 4　③　2　1 |
| ○人事・給与に関する規程等は整備されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 | 4　③　2　1 |
| ○情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | 4　3　②　1 |

**①課題**

・情報システム化等による業務の効率化については「やや不適切」な評価となっている。

**②今後の改善方策**

・業務が多様化している状況の中で教職員の業務の見直し、情報を共有することを徹底していく。また学生管理システムの導入なども検討していく。

**③特記事項**

・教職員には年度初めに学校運営、教育目標や組織について明示された全体会議資料を配布し、意識の共有を図っている。

## (3)教育活動

| 評価項目 | 評価結果<br>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|
| ○教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | 4　③　2　1 |
| ○学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。 | ④　3　2　1 |
| ○キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。 | 4　③　2　1 |
| ○関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。 | 4　③　2　1 |
| ○授業評価の実施・評価体制はあるか。 | 4　③　2　1 |
| ○職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。 | 4　③　2　1 |
| ○成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 | 4　③　2　1 |
| ○資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 | 4　③　2　1 |
| ○人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。 | 4　③　2　1 |
| ○関連分野における業界等との連携においてすぐれた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。 | 4　③　2　1 |
| ○関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか。 | 4　③　2　1 |
| ○職員の能力開発のための研修等が行われているか。 | 4　③　2　1 |

**①課題**

・教員の技術力、指導力の向上のための取り組みが必要。
・技術マニュアルの定期的な見直しや不足部分の補充。

**②今後の改善方策**

・全教員による定期的な技術チェックなどは行っているが、段階に応じたチェックリストを作成し、一定の質が保証されるシステムを構築していく。

**③特記事項**

・教員の技術チェックは定期的に実施している。また学生による授業評価、保護者アンケート、学校評価委員会による学校評価を実施している。

## (4)学習成果

| 評価項目 | 評価結果<br>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|
| ○就職率の向上が図られているか。 | ④　3　2　1 |
| ○資格取得率の向上が図られているか。 | 4　③　2　1 |
| ○退学率の低減が図られているか。 | ④　3　2　1 |
| ○卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 | 4　③　2　1 |
| ○卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 4　③　2　1 |

**①課題**

・卒業生の社会的活躍などの情報収集や卒業生による授業の実施など定期的に行ってはいるが、学校の教育活動の改善には活用しきれていない。

**②今後の改善方策**

・卒業後のキャリア形成が具体的に描けるように、卒業経過年数（新卒、5年、10年など）ごとに卒業生の活躍を目に見える形で紹介し、また授業に生かすなど取り組みを一層充実させていく。

**③特記事項**

・担任による面談を定期的に実施することで、就職率の向上や退学率の低減が図られている。
・就職サロンへの卒業生就業状況調査を行い、教育活動に生かせるよう取り組んでいる。

## (5)学生支援

| 評価項目 | 評価結果<br>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|
| ○進路・就職に関する支援体制は整備されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○学生相談に関する体制は整備されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 | 4　③　2　1 |
| ○課外活動に対する支援体制は整備されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○学生の生活環境への支援は行われているか。 | 4　③　2　1 |
| ○保護者と適切に連携しているか。 | 4　③　2　1 |
| ○卒業生への支援体制はあるか。 | 4　③　2　1 |
| ○社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。 | 4　③　2　1 |
| ○関連分野における業界との連携による卒業後の再教育プログラム等を行っているか。 | 4　③　2　1 |

**①課題**

・どの項目もおおむねほぼ適切との評価となったが卒業後の支援についてはまだ強化が必要。

**②今後の改善方策**

・同窓会を組織化し確実な運用につなげる(コロナの影響で延期となっている)。
・離職者への相談窓口の設置など支援体制を作る。

**③特記事項**

・保護者に向けたアンケートの実施や公開授業、個別面談を定期的に実施し、保護者の要望に応えられるよう努めている。
・登下校メールを今年度より新たに導入した。
・担任を中心に学生の出席状況や授業態度などに気を配り、退学の防止に心がけている。

## (6)教育環境

| 評価項目 | 評価結果<br>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|
| ○施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 | 4　③　2　1 |
| ○学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。 | 4　③　2　1 |
| ○防災に対する体制は整備されているか。 | 4　③　2　1 |

**①課題**

・避難訓練の徹底と災害時の連絡体制の強化。
・感染症対策の見直し。

**②今後の改善方策**

・災害時の備蓄品の準備。在校時、登下校時等の災害発生時の避難方法、連絡方法を徹底する。
・変化する環境に対応できるようカリキュラムの見直しや学校行事の見直しを行っていく。

## (7)学生の受入れ募集

| 評価項目 | 評価結果<br>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|
| ○高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みを行っているか。 | ④　3　2　1 |
| ○学生募集活動は、適正に行われているか。 | ④　3　2　1 |
| ○学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。 | 4　③　2　1 |
| ○学納金は妥当なものとなっているか。 | 4　③　2　1 |

**①課題**

・オンラインの活用など新しい形の学生募集の構築。

**②今後の改善方策**

・動画配信やHP上での学校情報のタイムリーな発信など、紙媒体以外での情報提供に取り組んでいく。

**③特記事項**

・高等教育の修学支援新制度対象校、職業実践専門課程の設置認可校として、適切な情報提供を行っている。

## (8)財務

| 評価項目 | 評価結果<br>適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1 |
|---|---|
| ○長中期的な学校の財務基盤は安定しているといえるか。 | 4　③　2　1 |
| ○予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 | 4　③　2　1 |
| ○財務について会計監査が適正に行われているか。 | 4　③　2　1 |
| ○財務情報公開の体制整備はできているか。 | 4　③　2　1 |

**①課題**

**②今後の改善方策**

・財務情報の迅速な公開。長期的な財務基盤安定のための学生募集計画、人員計画を策定する。

## (9)法令等の遵守

| 評価項目 | 自己評価 |
|---|---|
| ○法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。 | 4　③　2　1 |
| ○個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。 | 4　③　2　1 |
| ○自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。 | 4　③　2　1 |
| ○自己評価結果を公開しているか。 | 4　③　2　1 |

**①課題**

・個人情報の取扱いなど、教職員全体での意識の統一。

**②今後の改善方策**

・自己評価結果の迅速な公開と課題への対策をしっかりと行っていく。
・個人情報取り扱いについて教職員の研修を再度実施する。

## (10)社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 自己評価 |
|---|---|
| ○学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 | 4　③　2　1 |
| ○学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。 | 4　3　②　1 |
| ○地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。 | 4　③　2　1 |

**①課題**

・学生のボランティアや社会貢献について推進できていない。

**②今後の改善方策**

・美容という職業でできる社会貢献について紹介できる機会を設ける。

2022 年 11 月 29 日

# ベルフォート美容専門学校
# 2022 年度学校関係者評価報告書

1. 開催日時　　2022 年 11 月 28 日(月)　13：00～13：45

2. 開催場所　　ベルフォート美容専門学校内

3. 出 席 者

| 学校関係者評価委員 | 所属名 | 役職名 |
|---|---|---|
| 野々村　剛 | 株式会社野々村美容商事 | 代表取締役社長 |
| 山本　照保 | 山本株式会社 | 取締役会長 |
| 山本　敏裕 | ｾﾝﾄﾗﾙﾍｱﾓｰﾄﾞ職業訓練会 | 会長 |

| 学校教員・事務局 | 役職名 |
|---|---|
| 長尾　拓朗 | 学 校 長 |
| 岩崎　恵美子 | 事務局長 |

4. 会次第
   1．開会宣言
   2．資料の確認
   3．学校長挨拶
   4．委員の紹介
   5．学内施設見学
   6．自己評価結果報告
   7．意見交換
   8．閉会宣言

5. 意見交換・評価結果

①学校内の掲示（就職関係・学校行事関係）や授業見学を行った。

②国家試験に向けた学校の取り組みや学生の様子などについて報告を行った。

③評価項目ごとに評価委員による審査を行った。

(1) 教育理念・目標　・・・評価結果：3

（2）学校運営・・・・・・・評価結果：3
（3）教育活動・・・・・・・評価結果：3
（4）学習成果・・・・・・・評価結果：4
（5）学生支援・・・・・・・評価結果：3
（6）教育環境・・・・・・・評価結果：3
（7）学生の受入れ募集・・・評価結果：4
（8）財務・・・・・・・・・評価結果：3
（9）法令等の遵守・・・・・評価結果：3
(10)社会貢献・地域貢献・・評価結果：3

【意見】

（1）教育理念・目標　（2）学校運営

（山本照委員）

入学生が今年度は定員いっぱいになったとのことだが、次年度以降の見通しはどうか。今後の学校運営を考えると学生を集め続けることが必須になる。ベルフォートの教育理念や目標などは保護者や学生、高校生にどのように周知していくのか

（学校）

高校生に体験入学やガイダンスで、保護者や在校生には入学前ガイダンスや入学後にもベルフォートの教育理念や目標について話をしてきていることが、少しずつではあるが周知、認知され、地元でも自分の夢をかなえられる学校として選ばれるようになってきているのではないかと考えている。今後も学校の核となる教育理念、目標をしっかり伝え続けていく。

（3）教育活動　（4）学習成果　（5）学生支援

（野々村委員）

国家試験の合格率が 100%と聞いている。高い合格率を維持するために必要な支援があればしていきたいと思う。

（学校）

一人ひとりに寄り添う教育環境が今は必須であると痛感している。また自信を持たせる教育も重要で、できることを一つずつ認めてあげることで学生は自信を持ち、成果を上げていく。教員の苦労は絶えないと思うが、根気よく指導してくれている。その結果、学生大会でも素晴らしい成績を残すことができた。

サロンの方々には、今後も新しい技術や知識など教員や学生に指導していただくことを継続してお願いしたい。

（山本敏委員）

学生も教員も増えてきているが、教員の技術力や指導力の向上に向けて新たな取

り組みが必要ではないか。

（学校）

学生が増えても個人個人をしっかり見ていく学習環境を作るのは学校の使命だと理解している。そのためにも教員の技術力や指導力にばらつきがあってはならない。そのため、今年は定期的に教員の技術チェックを行い、教員同士指導し合う機会を設けている。

（6）教育環境

（山本敏委員）

例年の課題だが設備に関して不足や不備はないか。

（学校）

男子トイレの問題は物理的に解決が難しく、館内のトイレを利用してもらうことで了解を得ている。今年度はシャンプー台の増設、各教室のプロジェクターの設置など教育環境の整備に努めた。

（7）学生の受け入れ募集

（山本敏委員）

次年度の学生募集状況はどうか。

（学校）

次年度も定員に達することができる見通し。ただし学生募集については毎年気が抜けない状況であることに変わりはない。また入学しても退学や休学する学生が一定数でてしまうため、一人ひとりにしっかり向き合うというベルフォートの指導方針を徹底し、入学して学生が途中で目標を見失うことのないように取り組んでいく。

（8）財務　（9）法令等の遵守　（10）社会貢献・地域貢献

特になし。